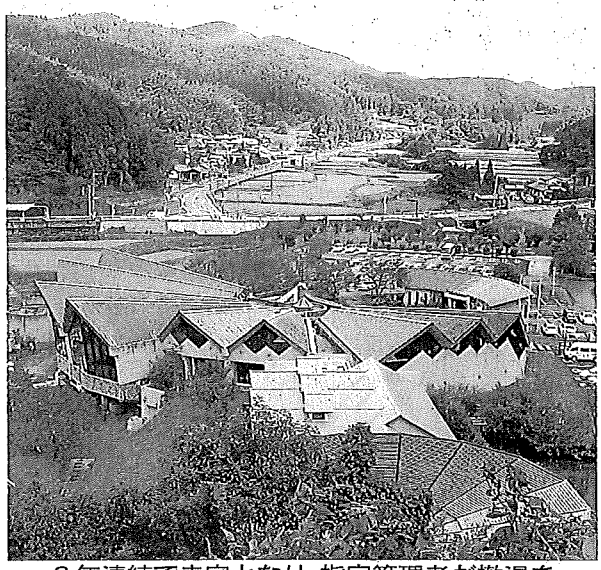
佐賀新聞

2014年（平成26年）9月26日（金曜日）

やまびこの湯 管理者撤退

契約途中 経営不振で後継募集

佐賀市三瀬



2年連続で赤字となり、指定管理者が撤退を申し出た温泉施設「やまびこの湯」＝佐賀市三瀬村

佐賀市三瀬村の温泉施設「やまびこの湯」について、市は25日、経営不振のため、指定管理者「安田建物管理」（福岡市）の指定を契約期間途中の来年3月末で取り消す方針を示した。2年連続で1千万円前後の赤字となった同社が撤退を申し出ていた。新たに指定管理者を募集するが、応募がなければ一時、市直営に戻すことも検討する。指定取り消しは市が2004年度に制度導入後、初めて。

市議会経済産業委員研究会で説明した。安田建物管理は2012年4月から5年間契約で受託した。初年度は約970万円、13年度約1250万円の赤字だった。地元採用の従業員12人は、市が新たな指定管理者に雇用継続を要請する。

やまびこの湯は1996年4月、旧三瀬村の村営施設として開館した。市は11年10月、入館者数の減少を食い止めようと、約1億7千万円かけて大規模改修し、合わせて指定管理者制度を導入した。13年度の入館者数は約14万4千人で、前年度比2万3千人減となった。ピーク時の01年度、約26万3千人の半数近くに落ち込んだ。市は来館者数減少について「三瀬を訪れる観光客が減少傾向。福岡中心部から同じ距離にある糸島に流れているのでは」とみる。

安田建物管理の安田進社長は「福岡からの来館者を増やすため送迎バスを導入したり、クーポン券を発行したりしたが集客できなかった。温泉を湧かすための重油価格の高騰もあり、赤字が膨らんだ」と語った。

今後、市は指定管理者と結ぶ協定を見直した上で、9月中に指定管理者の募集を開始、書類審査などを経て業者を選定する。市経済部の池田剛部長は「業者が決まらない場合、1、2カ月直営することも考えられる」と話した。（大塚堅志）